令和6年度 自己点検·評価

令和7年7月2日

基準項目について

1.教育理念·目標		
1-1 理念・目的・育成人材像の明文化	自己評価	学校関係者評価
(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8	
(2)学生・保証人に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	3.7	S
(3)教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	3.7	3
(4)学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	3.9	
1-2 社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いているか	自己評価	学校関係者評価
(1)各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.9	
(2)社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.1	S
(3)学校における職業教育の特色は明確になっているか	3.6	

<評価>

教育理念・教育目的は、ホームページ・パンフレット・学生便覧にて周知している。また学生へは、入学時オリエンテーション、保護者へは入学後の保護者会にて説明している。 社会情勢の変化、および看護師に求められる役割をふまえた教育課程の編成を行っている。

<課題、および今後の改善方策>

今後も社会情勢の変化、および看護師に求められる役割をふまえ、現状の取組みを継続していく。

<学校関係者委員からの意見>

パンフレット、ホームページ等で教育理念等を公表し、その内容も対象者に理解しやす内容である。

2. 学校運営		
2-1 運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか	自己評価	学校関係者評価
(1)教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7	S
(2)運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	3.6	J
2-2 事業計画を作成し、執行してるか	自己評価	学校関係者評価
(1)運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	3.4	- S
(2)学校の年間スケジュールはあるか	4	
2-3 運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか	自己評価	学校関係者評価
(1)寄附行為、理事会会議規則等、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議会、 学校運営会議等が開催されているか	3.6	
(2)運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.5	
(3)組織機能図があるか	3.6	S
(4)運営会議が定期的に開催されているか	4	3
(5)出退勤管理簿があるか	3.9	
(6)教職員の健康診断がされているか	4	
(7)施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	3.6	
2-4 教職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか	自己評価	学校関係者評価
(1)資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.6	
(2)現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか	3.8	
(3)授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9	Α
(4)教員の組織体制を整備しているか	3.7	
(5)教員の能力開発のため研修等が行われているか	3	

(6)関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上の ため取組みがおこなわれているか	3	
(7)教育の成果に基づく教育面接を実施しているか	3.5	
(8)専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のため の研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	3	А
(9)教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニー ズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか	2.4	
(10)教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	3.4	
2-5 人事・給与制度を確立しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)人事に関する制度を整備しているか	3.7	
(2)給与に関する制度を整備しているか	3.6	S
(3)昇給・昇格制度は文書化されているか	3.7	
(4)採用制度は文書化されているか	3.7	
2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	自己評価	学校関係者評価
(1)情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.3	А

運営方針を策定し教職員へ周知している。学校運営における事業計画について、学生募集に関することなど一部計画が具体性に欠け、共有が不十分な面も見られる。また学校運営規定の整備は十分ではない。運営会議は定期開催され、機能していると言える。教員確保について、採用活動を行っているが充足はしていない。また教職員研修を実施しているが、個々のニーズを考慮した計画的な人材育成とは言い難い。人事・給与制度については就業規則、給与規定について定めており周知している。

<課題、および今後の改善方策>

運営規定の整備、運営方針とリンクした事業計画の策定・共有を行っていく。教員確保については、採用活動を継続する。

また令和7年度は教員研修計画に基づいた研修会を企画・運用する。将来的には、教員の看護実践能力・教育実践能力の向上へ向け、教員ラダーの構築・運用に着手していく。

<学校関係者委員からの意見>

運営方針は職員へ周知している。事業計画の遂行は適切に行われている。

3. 教育活動		
3-1 教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針を明示し、また学校構成員に周知 し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	3.7	
(2)教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7	S
(3)教育目的および育成人材像に基づきディブロマポリシーを明示し、また学校構成員に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	3.6	
3-2 各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成取組がなされているか	自己評価	学校関係者評価
(1)教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.9	
(2)講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4	
(3)各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	3.9	
(4)シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に示され、授業で有効活用されているか	3.9	
(5)適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	3.5]
(6)質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	2.4	
(7)学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	3.9	S
(8)評価結果を職員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	3.9]
(9)カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか	3.6	1
(10)カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見をとり入れ ているか	3.4	
(エ)キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されている	3.6	
(2)関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められている	3.5	

(3)専攻分野に係る関連分野の企画・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	3.6	S
(4)企業・施設等での職場実習があるか	3.6	3
3-3 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	自己評価	学校関係者評価
(1)成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.9	
(2)学生や保証人に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	3.8	S
(3)各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	3.9	3
(4)専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	3.5	
3-4 資格・免許取得のための指導体制があるか	自己評価	学校関係者評価
(1)資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるのか	3.8	S
3-5 キャリア教育等を身につけるための取組みが実施されているか	自己評価	学校関係者評価
(1)キャリア教育行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア 発達を促しているか	3.2	А

教育目的およびディプロマポリシーに沿ったカリキュラムを編成し、周知した上で運用している。カリキュラム作成について、令和6年度より教育課程編成委員会を立ち上げ、外部関係者の意見も反映できるようシステム化した。。授業評価については、学生による授業評価アンケートの実施、科目担当教員による授業評価を行い、共有している。新任教員の授業については、授業計画から授業実践までの指導や確認を行っている。成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確であり、問題なく運用できている。高校等と連携した職業教育を実践しているが、教職員間での情報共有が十分でなく、低い評価になったと考える。

<課題、および今後の改善方策>

今後も教育目的やディプロマポリシーに基づいた教育活動の実践へ向けて、体系的なカリキュラムの再編に取り組んでいく。

<学校関係者委員からの意見>

教育課程編成委員会で外部の意見を取り入れた教育活動の評価が反映されている。

4. 学修成果·教育成果		
4-1 各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取組みと評価がされているか	自己評価	学校関係者評価
(1)コース全体を通して、及びコースの終了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	3.3	
(2)学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施され ているか	3.4	А
4-2 就職率の向上が図られているか	自己評価	学校関係者評価
(1)就職率の向上が図られているか	3.6	
(2)学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	3.6	S
(3)学生の就職活動に関する記録がなされているか	3.8	3
(4)対外部に向けた就職実績を公表しているか	3.6	
4-3 資格・免許取得率の向上が図られているか	自己評価	学校関係者評価
(1)資格取得率の向上が図られているか	3.6	
(2)資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	3.7	
(3)資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	3.7	S
(4)資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	3.3	
(5)資格・検定・コンペの結果を公表しているか	3.6	
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価把握しているか	2.4	В

<評価>

学生の学修成果について評価し、共有している。就職率は100%であり、就職実績は公表している。看護師国家試験合格率は、令和6年度90.6%であり、一昨年と比較し大きな変化は見られなかった。卒業生・在校生の社会的な活躍・評価の把握は不十分である。

<課題、および今後の改善方策>

看護師国家試験の合格率向上へも取組みお継続する。学生の基礎学力の低下など、課題が山積するなかで、効果的な方策を検討し続ける必要がある。卒業生の状況把握については、「5.学習支援」の方策と合わせて対応する。

<学校関係者委員からの意見>

卒業生の就業状況の把握について、関連の病院の把握は出来ているが、それ以外の卒業生の動向を把握するよう努める評価が反映されている。

5. 学習支援		
5-1 学生に対する修学支援を適切に行っているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学生への修学支援を適切に行っているか	3.4	А
5-2 就職・進学指導に関する支援体制は整備されているか	自己評価	学校関係者評価
(1)進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6	S
5-3 学生相談に関する体制は整備されているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学生相談に関する体制は整備されているか	3.7	S
(2)学生の面談・相談記録があるか	3.8	J
5-4 経済的支援体制、健康を担う組織体制、生活環境支援体制を整備しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.9	
(2)学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.9	A
(3)課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.2	
(4)学生の生活環境への支援は行われているか	2	
5-5 退学率の低減が図られているか	自己評価	学校関係者評価
(1)退学率の低減が図られているか	2.3	
(2)退学率の目標を設定しているか	2	В
(3)退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	2.2	ט
(4)退学者数を公表しているか	1.6	
5-6 保証人との連携体制を構築しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)保証人と適切に連携しているか	3.3	S
(2)保証人との計画的な相談会・面談を行っているか	3.5	
5-7 卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)卒業生への支援体制を整備しているか	2.4	В
(2)卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか	2	
(3)社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.7	

就職支援セミナーや個別相談など、適宜進路・就職支援を実施している。学生相談は、状況に応じて教員が行っている。

臨床心理士によるメンタルヘルス対応もシステム化している。経済的支援では、茜会独自の奨学金制度を始めとする各種奨学金・支援金制度活用への支援体制を構築している。学校生活環境としては、建物の構造上可能な範囲で対応している。退学率の低減へ向けては、学習支援やメンタルフォローなど対策を講じている。 卒業生への支援として、国家試験対策、図書室の解放などを行っているが、卒後の動向把握は十分ではない。

<課題、および今後の改善方策>

今後も学校生活環境の改善へ向けて、取り組みを継続する。退学率の低減については、退学率の推移を共有すると共に、退学率の低減へ向けた取り組みの評価を行う。卒業生の動向については、卒業後の状況調査を行うと共に、相談しやすい体制作りにも尽力する。

<学校関係者委員からの意見>

法人独自の奨学金の評価はされている。退学率は、増加傾向にあるが退学の原因と防止体制は整備されている。

6. 教育環境		
6-1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	自己評価	学校関係者評価
(1)施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.9	
(2)学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	3	
(3)教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	3	S
(4)分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	3.4	٦
(5)学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	3.6	
(6)施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	3.4	
6-2 学外実習、インターンシップ等について、十分な教育体制を整備しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.1	٨
(2)実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか	3.6	A
6-3 防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練を実施しているか。	自己評価	学校関係者評価
(1)防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.7	
(2)防災・防犯設備が整備・点検されているか	3.8	S
(3)定期的に防災訓練を実施しているか	3.9	
(4)学校における安全管理の整備を行っているか	3.6	

学習に必要な図書や教材の整備は少しずつ進めており、教育環境の改善に繋がっている。臨地実習での教育体制については実習施設と調整し、学習環境の整備や教育方法の改善に繋げている。

<課題、および今後の改善方策>

現状の取組みを継続する。

<学校関係者委員からの意見>

定期的な施設設備点検が行われ、所轄の消防署立ち合いにて防災訓練を実施している。

7. 学生の受入れ募集		
7-1 学生募集活動	自己評価	学校関係者評価
(1)学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	
(2)入学者受け入れ方針を策定し、学校構成員に周知し、社会に公表しているか	3.8	
(3)学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	3.8	
(4)学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	3.8	S
(5)入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	3.9	
(6)学校説明会等による情報提供を行っているか	4	
(7)入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	3.8	
7-2 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学校案内等には選抜方法明示されているか	4	S
(2)学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	4	
7-3 学納金は妥当なものとなっているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学納金は妥当なものとなっているか	4	S
(2)学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されている	4	

<評価>

高校訪問、オープンキャンパス、ホームページ・学校パンフレットやスタディサプリでの情報発信、SNSの活用など、学生の協力も得ながら、年間を通して学生募集に取り組んでいる。現状を分析した結果、どのような学生募集活動を実施したのかなどの情報共有が十分とは言えない。入学選考は、適正かつ公平な基準で実施している。

<課題、および今後の改善方策>

学生募集活動については、競合校の状況を把握し、今後も学生の協力も得ながら取り組んでいく。学生募集活動について情報共有しながら、教職員全体で同じベクトルを合わせて取り組んでいく。

<学校関係者委員からの意見>

人口減少、少子高齢化の今後、学生の確保に工夫を必要とするのではないか。学生募集活動は全職員で取り組んでおり評価が反映されている。

8. 教育の内部質保証システム		
8-1 法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	自己評価	学校関係者評価
(1)法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.7	
(2)業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	S
(3)関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	3.6	
8-2 個人情報保護に関する規定を整備し、個人情報に対する対応を取っているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.7	
(2)個人情報保護規程が文書化されているか	3.2	S
(3)個人情報の取扱いについて、教職員に対して周知し、意識づけができているか	3.6	
8-3 学校評価の実施体制を整備しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	3.6	
(2)自己点検・評価報告書にまとめているか	3.7	S
(3)自己点検・評価の組織があるか	3.7	J
(4)学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	3.7	
8-4 教育目標、育成人材像に向けて、学校評価から改革・改善のシステムが構築されているか	自己評価	学校関係者評価
(1)自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	3.8	
(2)卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.8	
(3)自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	3	Α
(4)自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3	
(5)学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	3.1	
(6)学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3	
8-5 教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか	自己評価	学校関係者評価
(1)教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.5	
(2)自己評価結果を公開しているか	2.7	В
(3)学校関係者評価結果を公表しているのか	2.3	

保健師助産師看護師学校養成所指定規則を遵守し、学校運営を行っている。個人情報保護規定の共有はできていない。学校評価は定期的に実施しており、令和6年度は学校関係者評価員会にて、現状や課題、対策の共有を行った。

<課題、および今後の改善方策>

個人情報保護規定について、教職員間での共有を行い、現代社会の情報化の進展に応じて見直しを行う。今後も教育目標やディプロマポリシーをふまえ、 学校評価から改革・改善の取組みを継続する。

<学校関係者委員からの意見>

情報公開は学内に紙媒体で保管し申出により公表する方法である。積極敵なホームページ公開が評価に反映されている。

9. 財務		
9-1 学校の中長期的な財務基盤は安定しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	2.8	А
(2)年度予算・中期計画が策定されているか	3.5	
9-2 予算収支計画は有効かつ妥当か。適切に執行管理を行っているか	自己評価	学校関係者評価
(1)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	٨
(2)予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3	А
9-3 財務監査は適正に行われているか	自己評価	学校関係者評価
(1)私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	2.7	S
9-4 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し運用しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	1.5	В
(2)財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	1.2	ט

事業計画に基づき予算が計上され、適切な運営がなされている。財務は法人本部と学校財務で確認を行う二重チェックにて管理が行われている。決算および予算については、理事会、評議員会で検討・承認が行われ、会計監査の実施にて適正に行われている。また事業計画については学内で検討・調整を行い、予算計画を立て運営している。

<課題、および今後の改善方策>

全教職員へも学校運営に関する意識づけを行うこととし運営会議等で財務に関する情報を伝えていく。

収支予算・決算事業報告・会計監査報告を学校長、事務長、副学校長で確認を行うとともに、財務周知を行っていく。

<学校関係者委員からの意見>

コスト削減を行い、収支の改善に努めている。

10. 社会貢献·地域貢献		
10-1 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.5	C
(2)地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2.2	3
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	自己評価	学校関係者評価
(1)学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2.2	S

<評価>

一昨年より、脳神経筋センターよしみず病院での医療フェス、下関ジョブフェアへ参加している。また外部からのボランティア募集についてアナウンスし、参加する学生もいる。

<課題、および今後の改善方策>

今後は、学校周辺地域での清掃活動など、地域の方と連携しながら、地域貢献活動の拡大を図っていく。

<学校関係者委員からの意見>

医療フェスやジョブに参加、近隣の会社イベントに駐車場を開放するなど、社会貢献・地域貢献は評価できる。

11-1 国際交流	自己評価
(1)留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	1.1
(2)留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	1.1
(3)留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	1.1
(4)学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	1.1

<評価>

国際交流については、体制が整備されていない。

<学校関係者委員からの意見>

特になし